

梅鶯仏教壮年

第45号
2007年
4月15日



去る3月18日
に定期総会が開催
され、平成19年
度の行事予定が左
記の通り決定
されました。



平成十九年度行事予定

5月27日(日)	例会
7月29日(日)	例会
9月22日(土)	研修親睦旅行
10月23日(日)	報恩講
11月17日(土)	竹灯籠除夜会
12月31日(月)	例会
1月27日(日)	役員会・総会
3月1日(土)	

仏教用語の解説②

《往生》

「おうじよしまっせ!」のギ
漫才師「こだま・ひびき」
ヤグです。
お笑い好きの私にとって、「こ
だま・ひびき」は好きな漫才師で
あり、大いに楽しませてもらっ
ています。
しめどこの得意の「おうじよ
しまっせ!」のギャグが出た
き、観客はドツとわきますが、私
はいつも心のすみに「なんともい
えない寂しさを感じます。」とい
「往生」という言葉は申すまで
もなく「阿弥陀さまの世界である
浄土」とい
うこととです。
つまり浄土真宗門徒の私達にと
っては、願い求める究極の世界で
あり、もつとも大切な言葉の一つ
なのです。
「往生」と「こだま・ひびき」の
「おうじよしまっせ!」は本来
の意味どころか、「困り果てた」
という全く反対の意味で使ってい
るのです。
確かに辞書を引きますと、最初
に「この世を去り、極楽浄土に往
（い）つて生まれること」とあり
ますが、その後「死ぬこと」と、
さらには「どうにもしようがなく

なること」という意味も記載さ
れており、この「往生」という
ひびき「現代の間違った意味で
なく、現社会では事実でありま
す。使われて

は、この誤った使われ方の原因
に「往生」という本来の
意味が、「この世を去る」とな
まり死ぬことだけの意味になっ
てしまぬ、それがマイナスイ
メー・ジとなつて、やがて「どう
にもならない」という意味にな
てしまつたのだと思います。
宗門徒にとつては「死ね!」終
り「お浄土に生まれ仏とな
り、すぐさま、すべての人を救
う」というのが教えであり、そ
れが「往生」であり、その
「往生」は、私たちを安らかな
持ちを、改めて認識しましよ
う。

生きるということとは、
容易なことではない。
ただ生かしてもらつて
いるだけで、大したものだ。

東井義雄先生

題材法話

○一本の糸に貫かれた人生

念珠の糸が切れれば、ぱつと珠が散らばります。

散らばってころがったそれぞれの珠は、もう念珠とはいえません。

一つひとつの珠が一本の糸で貫かれて初めて念珠になるのです。

人生も全く同じだと思いません。

人生には様々な出来事があります。

入学や卒業、結婚、子供の誕生、出会いや別れ、嬉しいことと悲しいこと、色々なことがあります。

ひとつの出来事を取り上げた「人生」とは言えないの

です。

これらの出来事が一本の糸で貫かれて初めて人生といえるのです。

言い換えば一本の糸で貫かれる様な生き方ではない

と、本当の意味では

人生といえないでし

よう。

念珠にとって糸は



いのちであります、実は私達にとっても人生を貫く糸の役割をするものが大変重要なのです。

その糸がないと、目先の出来事ばかりに目を奪われ

て、結局はむなしく人生を終えることになるのではな

いでしょうか。

○お釈迦様、4夫人の譬喩

お釈迦様のご説法にこんな話があります。

あるところに男がいて、第1、第2、第3、第4夫人と4人もの奥さんを持つ

ていました。

男は、まず第1夫人に対しては、それはもう目に入

れては、それはもう目の可

愛がりやで、欲しいもので

が有れば少々無理をして

も買つてやる。

お腹が空いたといえ、一番食べたい物を食べさせ



てやる。至れり尽くせりなの

は、嬉しいときや悲しいとき、側に側へ呼び寄せたり喜んだり慰めて貰ったり

しました。

最後に4番目の夫人です

が、この第4夫人に対して

だけは実に粗末に扱い、た

まに夫人が言い寄っても、

「私は第1夫人や第2夫人

の事で目一杯なのだ。おま

えをかまってる暇などない

」と、なんともつれなく

追いやってしまうのです。

○ひとりで生まれひとりで去る

と、ところがこの男、やがて

病気がかり、いよいよ余

命いくばくもなくなつてし



まいりました。

りました。けれどそればかりはできません」とあつさり断るのです。

そこで仕方なく、次に第2夫人を呼び、また男は同

じように頼みます。

ところが第2夫人もま

とにつれなく、「第1夫人

にできないことを、なんで

私にできますか」と断るの

です。

がっかりした男は、それ

でも嬉しいときや悲しい

きに共に歩んできた第3夫

人こそは、必ず一緒に死ん

でくれるであらうと大いに

期待を寄せます。

けれどこの第3夫人も、



「はい、あなたのために立

派な葬式を出しましょう。

立派なお墓も必ず立てまし

よう。年忌法要も忘れずい

たしましょう。

けれど、これは勘弁して

に死ぬことだけは勘弁して

下さい」と、これまたきつ

ぱり断るのです。

男は、第4夫人のこ

とを思い出すのです

が・・・

・・・

・・・

・・・



3月総会住職法話より

次号へつづく

3月総会住職法話より

次号へつづく